

はぐくみのつどい

～不登校を聴く・語る・分かちあう 保護者の会～

奈良市教育センター 教育支援・相談課



保護者への支援

奈良市では、保護者の方々の想いに寄り添い、不登校に係る不安や悩みを少しでも軽減して頂くことが大切と考え、保護者の方々の語らい交流する場として「はぐくみのつどい」を定期的に実施するなど、お子さま、保護者さまとともに支えていく事業を行っております。

はぐくみのつどい

~不登校を聴く・語る・分かちあう 保護者の会~

奈良市では、ご家庭でのお子さんとの過ごし方や学校とのかかわり方など、同じ悩みや心配をお持ちの保護者の方々が集まり、一緒に語り合う場を定期的に開催するほか、学びや進路に関するイベントを実施しています。

令和5年度 開催実績

- 第1回 令和5年 6月17日（土）
- 第2回 令和5年 8月20日（日）
- 進路のつどい 令和5年11月 9日（木）
- 第3回 令和5年11月 18日（土）
- 特別回 令和5年12月 17日（日）
- 第4回 令和6年 2月 18日（日）

通常回

ご家庭でのお子さんとの過ごし方や学校とのかかわり方など、同じ悩みや心配をお持ちの保護者の方々が集まり一緒に語り合う場です。

開催場所

はぐくみセンター内
奈良市教育センター8階
(奈良市三条本町13番1号)

進路のつどい

中学校卒業後の 多様な進路・学び先の情報を提供

通常回の「はぐくみのつどい」において、保護者の方々が中学校卒業後の進路先について心配や不安を持たれていますことを感じておりました。保護者の方々や子どもたちが安心できるよう、その声にお応えし、子どもたちも参加できる進路に特化したつどいをオンラインとのハイブリットで実施いたしました。



ご来場者の声

- 選択肢・可能性を知ることができた。
- 中学校に行けなくて、進路が不安だったのが、話を聞いて子供と話をするきっかけになりました。
- 自分の時とは全く違う環境があることに良い意味で驚きました。全くのゼロからこのような学校の存在を見つけるのは難しいので大変助かりました。
- 全日制の知識しかなかったので、それ以外の多様な学校の選択肢があると理解できてよかったです。

令和5年11月9日（木）開催内容

- 会場 奈良市教育センター
- 対象 奈良市在住の児童生徒および保護者
- 主な内容 各校における高校紹介・各校の個別相談
- 参画校 関西文化芸術高等学校、飛鳥未来高等学校、奈良女子高等学校、RITA学園高等学校、第一学院高等学校、トライ式高等学校、YMCA学院高等学校、N/S高等学校、京都廣学館高等学校、京都美山高等学校
- 午前の部 奈良県立山辺高等学校山添分校、奈良県立山辺高等学校、奈良県立大和中央高等学校、奈良県立奈良商工高等学校、奈良県立歎傍高等学校、奈良県立十津川高等学校
- 午後の部

特別回

多様な進路と学びを語る会

令和5年12月17日（日）、「はぐくみのつどい」特別回として、不登校保護者を対象としたイベント「多様な学びと進路を語る会」をはぐくみセンター大講座室で開催しました。イベントは会場とオンラインでのハイブリッド開催となり、合わせて約100名の方々に参加頂きました。経済産業省による特別講演のほか、全国の有識者によるパネルディスカッション、各分野の専門家を交えた座談会などが行われました。



令和5年12月17日（日）開催内容

- | | | | |
|------|---|---|------|
| 会場 | 奈良市教育センター | 登壇者 | ※敬称略 |
| 定員 | 会場参加190名 オンライン参加290名 | 五十棲浩二（経済産業省） | |
| 対象 | 奈良市および全国の保護者 | 山本俊夫（枚方市立山田中学校 元校長） | |
| 主な内容 | 特別講演「多様な学びについて」経済産業省
有識者によるパネルディスカッション
保護者座談会「多様な学び・進路について語ろう」
※第2部は会場参加のみ | 平井正朗（神戸山手女子中学校高等学校 校長・浜名山手学院 理事・関西国際大学 客員教授）
齋藤浩司（横浜市立鶴居中学校 元校長・一般社団法人とえはたえ代表）
森万喜子（小樽市立朝里中学校 元校長・北海道公立学校初任段階教員指導者）
※奈良 YMCA
※飛鳥未来高校 奈良本校
※小林建太（学びリンク株式会社 編集長） | |

（※は座談会のみ登壇）

経済産業省による特別講演 「幕の内弁当型からビュッフェ型へ」

第1部では、冒頭に経済産業省教育産業室長の五十棲浩二さんが「多様な学び」をテーマにオンラインで特別講演を行いました。五十棲さんは、経済産業省が進めるこれからの教育の在り方について、「従来のような全員に同じものを与える」とする『幕の内弁当型』の教育から、一つひとつ自分にとって良いものを選び取っていく『ビュッフェ型』の教育へと変換させたい」と説明。そうした中、昨年9月に実施された産業構造審議会・教育イノベーション小委員会で議論された主な論点を整理して解説されました。



全国の実践者が保護者へメッセージ 「行政と学校、家庭の連携が不可欠」

第1部後半では、有識者によるパネルディスカッションが行われ、元小樽市立朝里中学校校長で北海道公立学校初任段階教員指導者の森万喜子さん、元横浜市立鶴居中学校校長で一般社団法人とえはたえ代表の齋藤浩司さん、神戸山手女子中学校高等学校校長で関西国際大学客員教授の平井正郎さん、元枚方市立山田中学校校長の山本俊夫さんがそれぞれ登壇。自身が実践した不登校支援の事例報告のほか、子どもたちとの関わり方などについて講じました。

また、事例報告後は質疑応答の時間も設けられ、会場、オンラインの聴講者からの様々な質問に対し、各パネラーが答えました。



「多様な学び」「多様な進路」をテーマに 保護者座談会

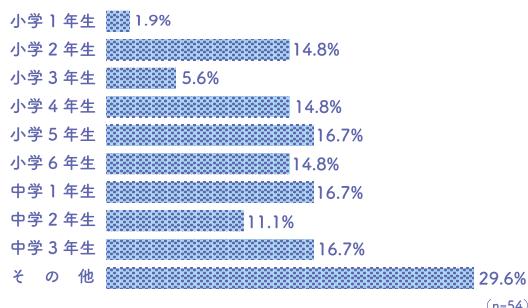
第2部では、会場限定で保護者座談会を実施しました。「多様な学び」「多様な進路」の2つのテーマで会場を分け、前半後半で入れ替わる形式で実施しました。保護者は1グループ7名程度に分かれ、それぞれのグループにはファシリテーターが就き、各回30分程度で様々な話が繰り広げられました。



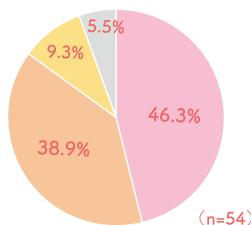
ご来場者の声

特別回では、小学校1年生から中学生、高校生、大学生のお子さまの保護者さままで、幅広い層の方々にご参加頂きました。座談会やその後のご感想などでは、それぞれの学齢からの幅広い視点による悩みや課題を共有することができました。来場者のみなさまからは、第1部のパネルディスカッションでは85.2%、第2部の座談会では93.1%（ともに「満足」「やや満足」の合計）と、高い満足度を得られました。

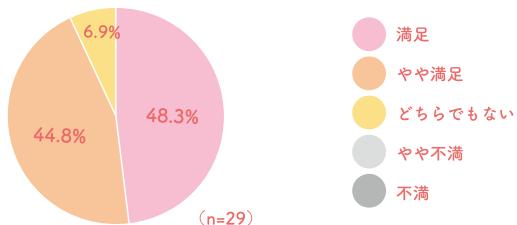
来場者のお子さまの学年



満足度【パネルディスカッション】



満足度【保護者座談会】



主な感想

- 先生方のお話を聞いて、安心した気持ちと学校の生まれ変わりの可能性がみえました。保護者向けの会でしたが、教育現場の方、校長先生たちにも聞いてもらいたい話だなと感じました。（第1部）
- 奈良においては全然聞けないお話が多く大変勉強になりました。（第1部）
- このような理解のある先生方がおられることで、勇気づけられました。（第1部）
- 参加された方の話や、ファシリテーターの方の話を聞いて、安心できることがたくさんありました。（座談会）
- 同じように悩んでいる方々の話が聞け、悩んでいるのは自分たちだけではない事があらためてわかって良かった。（座談会）
- 家の中だけでは煮詰まってしまうところを、外部の方に思い切って話すことができる機会は本当に貴重です。（座談会）

教育相談総合窓口

0742-93-8199

月～金（祝日・年末年始を除く）9時～17時

教育センター6階（奈良市三条本町13番1号 はぐくみセンター）

※上記は、すべて令和5年度の実績であり、令和6年度の開催は未定です。